



平成29年5月23日

各 位

会 社 名 大黒屋ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平  
(コード番号 6993 東証第二部)  
問合せ先 総務部長 岩瀬 茂雄  
(TEL. 03-3448-7300)

**当社グループのさらなるグローバル化の推進に向けたCITICとの資本業務提携関係の強化  
にむけた「覚書」の締結、及び当社子会社による株式併合に関するお知らせ**

大黒屋ホールディングス株式会社（以下、「当社」といいます。）は、さらにグローバル化を推進し、当社グループ主力事業であるブランド中古品買い取り販売業及び質事業において国内外を含めたトップ企業を目指すために、以下の施策を実施していますことをご報告いたします。

**1. CITICとの覚書の締結**

当社は、既に中国にてブランド中古品買い取り販売事業に係る合弁会社（Beijing XinBang Daikokuya Trading Corporation, Ltd.）を当社と共同で運営している中国CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT CORPORATION LTD.（「CITIC」といいます。）との間で、資本業務提携関係をさらに強化することを検討・協議してきましたが、本日、当社取締役会にて、両社間での資本業務提携関係の強化に向けて、本日付で覚書（以下、「本覚書」といいます。）を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。本覚書において、当社の100%子会社である株式会社エスビーオー（以下、「SBO」といいます。）に現在当社が子会社の大黒屋グローバルホールディング株式会社（以下、「大黒屋グローバル」といいます。）を通じて保有する国内及び英国の事業を統合し、CITICがSBOに30%資本参加する方針について基本合意しております。これは、当社とCITICが保有することになるSBOにてグローバル展開をしてゆくことを目的としております。なお、詳細については今後、両社間での資本業務提携関係の強化に関する法的拘束力のある最終契約の締結までに協議・交渉の上、決定することになります。

上記資本業務提携の具体的な内容については、今後詳細が確定した段階でお知らせいたします。

## 2. 当社子会社による株式併合

当社子会社の大黒屋グローバルは、短期的な業績変動等に過度に捉われず、中長期的な視点に立った上で機動的かつ柔軟な意思決定を可能とする経営体制を構築し、当社及びCITICの協力の下、大黒屋グローバルの経営陣及び従業員が一体となって、事業の拡大及び経営基盤の強化を推進するためには、大黒屋グローバルの株主を当社及びCITICが保有することになるSBOのみとすることが最善であると判断し、現在当社及びSBOで87.5%保有し残りを一般株主が保有しています大黒屋グローバルの普通株式の併合（以下、「本株式併合」といいます。）を行い、端数処理により一般株主の皆様へ交付することが見込まれる金銭の額については、相当な価格で行うことを検討しております。なお、本株式併合後に当社が保有する持分はSBOに移動することで、大黒屋グローバルはSBOの100%子会社となることを検討しております。

大黒屋グローバルによる本株式併合の具体的な内容については、今後詳細が確定した段階でお知らせいたします。

以上